

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/~dousou/



ご挨拶

会長 粕谷 邦男

同窓会の皆様には、ご健勝で
ますますのご活躍を心よりお慶
び申し上げます。

本年の同窓会総会も例年通り、
8月第2土曜日、四日市都ホテ
ルにて無事開催されました。多
数の出席をいただき、暑い折り、
ご同意下さり誠にありがとうございました。

母校、四日市南高校を想う心
は何時でも、何処でも、誰でも
若き青春の胸キュンを甘酸っぱ
く引き摺る人間の性として、い
つの時代でも心地良く落ち着か
せてくれます。

そして今年、創立50周年を迎
えました。

半世紀に続く切磋琢磨の日々
県下でもトップクラスの人氣を
誇る清々しい立派な自慢できる
学舎になりました。

この10月25日、その記念式典
が四日市市文化会館にて行われ

最後に、今回の50周年記念募
金に多くの方々のご理解、ご支
援をいただき深く深く感謝申し
上げます。

ワンダー
フォーゲル部
インターハイ
(全国高校総体)
連覇



南高50周年を祝して 学校長 中川 安久

平成20年度は本校の創立半世
紀の記念の年であります。

本校の沿革に、昭和34年
(1959年)3月27日、三重
県教育委員会告示第20号をもつ
て、昭和34年4月1日付三重
県立四日市南高等学校を設立す
る旨告示、とあります。これを
もって創立記念50周年となるわ
けであります。また同年、4
月8日第1回入学式挙行政(定員
300名)から本校の歴史がは
じまるのであります。

次の年、昭和35年2月1日、
本校舎起工式を挙行政、校章制定
この日を創立記念日と定め、昭
和30年代は、概ね学校としての
校舎、体育館、グラウンド等の建
設、校歌の制定を終え、内外と
も高等学校としての陣容を整え
た草創期といえます。昭和43年
10月には創立10周年記念式典を
挙行政しております。

その後、昭和49年度(1974
年度)に総合選抜制度(学校群
制度)が導入され、平成6年度
(1994年度)をもって21年
間続いた学校群制度が廃止され
ました。

平成7年4月から本年度平成
20年度までの13年間は、学校群

制度を引き継ぎ北勢地域を代表
する進学高校として邁進するこ
とにも、地域に信頼されること
に努力し今日に至っております。

半世紀の歴史で輩出した生徒
総数平成20年3月卒業生まで
18,151名を数え、着任し
た教職員は502名(うち校長
17名)のほりります。

歴史の節目に遭遇することは、
現学校の存立意味やその訳柄を
垣間見ることが出来るものであ
ります。学校の歴史には背景の
時代があり、これが大きく学校
に影響することとなります。本
校の歴史に、四日市市なり三重
県等の歴史が大きく影響するこ
とは当然であります。印象に残
るものだけでも、次のような出
来事がい出されます。

草創期は、戦後生まれの生徒
の入学(昭和21年生まれ)の生徒
が高校へ入学してきたのは、昭
和37年(4月)と、ほぼ合致しま
す。所謂団塊の世代の子ども達
が大量に入学し、学校は生徒急
増期を迎えることと重複します。
天災として昭和34年は「伊
勢湾台風」がこの地方を直撃し、
死者約5千人の未曾有の災害を
もたらしました。私も自分で体

験した最悪の天災であり、この
地方ではこれを凌ぐ災害は今の
ところありません。しかし一方
では、この時期景気回復がはか
られ、産業界は「岩戸景気」を
迎えた時代でもあります。また
昭和39年には、アジア初の「東
京オリンピック」が開催され、
新幹線、高速道路が開通されま
した。目に見えて我が国が高度
経済成長にあると思える時代で
あります。

昭和48年には、本県では初の
開催になった全国高校総体が開
催され、昭和50年の三重国体と
併せて全国規模のスポーツ大会
が開催され、本校は「水球」競
技の主会場であり連日熱戦が繰
りひろげられ、当時の皇太子ご
夫妻が観戦されたことがつい先
日のように思い出されます。

平成4年には、学校週5日制
がスタートし、同時に学校教育
にコンピュータが導入される時
代を迎えました。本校では、平
成7年度から学校群廃止と入れ
替わり「数理科学コース」が設
置され、その後、教室に空調機
器が入る時代が到来し、現在に
至っております。

平成20年10月25日に記念式典
を挙行政しますが、どうか南高を
卒業された方々には、現在の学
校にも足を向けられ、過ぎ去り
し時代を懐かしく思い出して
いただきたく思います。どうぞ
「母校へ帰ろう」を合い言葉に、
今の南高も見えていただきたいと
思います。心から歓迎いたした
く存じます。

OB講演会

平成20年6月18日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

青山里会常務理事
西元幸雄氏(6期生)



今回の講演内容は以下の3点でした。

- ①ソーシャルワーカーを目指したきっかけと現在の仕事、そして、今後社会貢献すべき視点などについて、とりわけ老人福祉事業の現場から課題まで。
- ②私の人生の生活観は高校時代にその原点があり、仕事以外に海洋(伊勢湾)観察を続けており、スナメリ(イルカ)を主に追っている。
- ③若い人たちに対するおもしろい。

①②③について、スライド(パワーポイント)を用いて、丁寧にわかりやすく講演していただきました。

生徒からは「社会福祉制度や身近に起こっている問題など初めてきづかされたことが沢山ありました」、「介護や心理学についても説明していただき、とても参考になりました」、「自身の高校生活とかぶっている点が多くあり、もつと僕も頑張ろうとおもった」などの感想が聞かれとても有意義で充実した講演でした。

三重県立図書館主幹
清水 豊氏(20期)



つい最近まで公立高校で世界の教員として教鞭をとっていたらしかったという中で、その場で生徒にこの講座を希望した理由を聞き、それに応じたお話をさせていただきました。

早稲田大学文学部史料学東洋史学に入學したものの漢文を白文でひたすら読んでいくだけだったという絶望感。当時のNHK「シルクロード」に魅せられ、また親元から離れて下宿したいという思いで1日12〜13時間勉強したというお話と、そこに「出会い」はなかったというところでは思わず笑いが出てしまいました。大学名だけで決めては大変なことになるといよいよよい教訓になりました。

教員になるためにあんなに勉強をしたことはないという日々を送ったということで、多少は教員に対して尊敬の念が増したかなと思います。

世界史の教員として工夫を重ねるうちメディアを利用した授業・インターネットを使った授業を展開するようになり、そこ

から新しい「出会い」が生まれやっとなりのやりたいことと出会えたというところではなんともうらやましく思いました。WYM・ASEEDを立ち上げ、そこから国際交流が始まり今に至っていらつしやるそうです。

教員から県立図書館に転勤となり、図書館の地下70万冊の蔵書に感動したお話や昨年度から「学ボラ(学生ボランティア)」を立ち上げ予想もしない新しい「出会い」があったことなど興味深いお話を聞くことができました。大学生・高校生の「学ボラ」は既存の一般ボランティアといっしょになって新しい活動が順調に進んでいるようです。「出会い」は「出会い」を呼び、「出会い」の連鎖がネットワークとなっていくというお話でした。

君たちは若いからチャンスに一步を踏み出せば新しい人生が始まる可能性がある。若くして一步を踏み出すことが大切であるとのお話を結ばれました。

エヌクリプト代表取締役
中村貴利氏(22期)



始めに現在されているお仕事の内容をパワーポイントを使って説明して頂きました。その中でコンピュータから情報が盗まれるのを防ぐために暗号を用い

る方法があり、そしてそれを読する一例などの話をして頂きました。特に理科系に興味を持っている生徒には大変面白い話であったと思います。

また、NASAとマサチューセッツ工科大学(MIT)との合同で、人工知能を持ったコンピュータを宇宙ステーションまで持っていく計画に携わったことなど、その仕事の凄さに、聞いているみんなは圧倒されていました。

高校時代の話では目標がなく勉強も中途半端であり熱心ではなかったとおっしゃっていましたが、3年の夏休みから力を入れ、1日10時間の勉強で大学に合格し、その後マサチューセッツ工科大学大学院で多くの研究をされたこと、そして色々と発明され多くの有名な方々と知り合いになったことなどを映像も見ながら楽しく話を聞かせて頂きました。

将来に役立つ貴重なお話をし

フォトグラファー
岡村靖子氏(29期)



プロのカメラマンという厳しい仕事について、楽しく話していただきました。つい最近まで仕事で訪問していたスウェーデンでの写真をプロジェクトで流しながら、高校時代に勉強で苦しんだ話、恋愛の話、親の反対を押し切って海外へ飛び出した話などから、20代をほとんど過ごした海外での話を具体的なエピソードを交えながら話していただきました。28歳のときに転職があり、その後名古屋で事務所を開くまでの話にはいろいろと教訓が含まれていたように感じました。「他人と向き合うより自分と向き合う方がシビアである」、「他人のせいにはせず、自分の責任で行動すれば道が切り開ける」、「出会いを大切に」などの話を親しみのある口調で語っていただきました。最後の生徒からの質問では、「素人が写真を取る時のワンポイントアドバイスは?」、「カメラマンになってよかったことは?」、「高校時代楽しかったことは?」など時間が足りなくなるまで続く質問に対しても、一つ一つ丁寧に答えていただきました。最後の「夢を叶えるには諦めないこと」という言葉がとても印象

土地家屋調査士・司法書士
矢野哲也氏(29期生)



土地家屋調査士・司法書士の業務内容についての説明から始まり、資格取得・事務所開業に至るまでの経緯を自己紹介を兼ねて話していただきました。

名城大学農学部に入學したものの挫折感から中退し、東京の友人宅を転々としていたそうです。所持金がないためコインシャワーを利用していたこと、寝苦しいため川原で寝ていたこと、人助けで衣類をいただいたことなど、東京生活について語っていただきました。そして、波乱万丈の生活を送っている中、友人の父親から将来について考えるようにとお説教をもらったことがきっかけで、国士館大学法学部に入學し、現在の事務所開業となつたそうです。高校時代あまり勉強はできなかったけど、歴史的地理を調べて新たな発見をしたり、企業の社長と会う機会が多く、得るものが多いと喜んでいました。

自分の人生に後悔はしていないし、生まれ変わっても同じ人生を歩みたいとおっしゃっていました。笑いが絶えることなく、楽しい講演会となりました。

教育実習

今年も教育実習が行われました。第42〜44期生の方々に感想をお聞きしました。

福井翔大

42期生

今回、唯一の大学院生ということで実習前は大変緊張していましたが、実習が始まると高校側の教員の皆さんや他の実習生に暖かく迎えられることができました。僕がこの実習でテーマとしたことは『コミュニケーション』で、先生や生徒と積極的に話したり行動したりすること、又授業でもコミュニケーションを積極的にを行うことを重視しました。

田中真友子

43期生

3週間の教育実習はあっという間に終わりました。実習前には不安だったことが嘘のように、毎日が新しい発見と充実感で楽しく過ごすことができました。この実習を通して多くの課題も発見できましたが、同時に自信にもなり、教職に対するモチベーションがより一層高まりました。



した。自分が高校生のときにお世話になり大好きだった南高校に、今回は実習生として迎え入れていただいたことを嬉しく思っています。

最後になりましたが、お忙しい中指導してくださった先生方そして、あたたかく私たち実習生を受け入れてくれた南高校の生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

三輪さな

44期生

教育実習を通して、指導してくださった先生方や生徒たちのおかげで、さまざまな発見をし勉強することができました。一部分だと思えますが、教師という立場を経験させていただき、その大切さや難しさを実感することができました。自分が高校生の頃は何気なく受けていた授業にも、実は先生方の授業を分かりやすく伝えようというアイデアがちりばめられていたことを実感しました。また、クラス一丸となって体育祭を頑張る生徒たちの姿から、高校生活の大切さを改めて感じました。

この教育実習での貴重な経験を、今後も役立てていきたいです。指導して頂いた先生方、本当に有り難うございました。

渡邊晴香

44期生

私は3週間、南高校で実習生としてお世話になりました。教育実習をする前は、教えることがどういうことか分かっていませんでした。

しかし、実習をしてみると教えることはとても難しいものだと知りました。授業を1回するために教科書に載っていることはもちろん、それ以上を調べなければなりません。自分が分かっていなかったつもりだったことを実感しました。

そして授業に伴う責任も知りました。教師は生徒に対し生活、勉強、進路など様々な責任を持つていると知り、本当に大変な職業だと実感しました。教職を目指すにあたって、この実習で教職の重みを知れて良かったと思います。

初めは人前で話すことに慣れておらず、授業などで孤独を感じていた。反応がなかったらと不安でなかなか話しかけられなかった。

磯川真里

44期生

そんなある時、廊下で見たことのない生徒が突然、挨拶をしてくれた。当然のようなことだがとても嬉しく、些細なことでも良いから自分から動いていこうと思えた。そう心がけてから、生徒からも声をかけてくれるようになり学校生活が楽しくなってきた。

気持ちひとつでこんなにも変わる事ができるのだと感じ、将来の理想をしつかりと持ちながら前進していきたいと思っ。ご指導いただいた先生方をはじめ、生徒の皆さん、そして私を成長させてくれた学校に本当に感謝している。

躍進する部活動

ワンダーフォーゲル部

女子快拳達成!!
インターハイ2連覇!

ワンダーフォーゲル部は現在顧問3名、男子8名、女子4名で活動しています。女子は8月6日〜10日に埼玉県秩父市で行われたインターハイに出場し、昨年に引き続き優勝することができました。3泊4日の大会期間は毎日暑い日がつづき、体力的にも精神的にも辛い戦いでしたが、選手4名はそれぞれの役割をしっかりとこなし、日頃の努力の成果を上手く出し、結果的に優勝を手に入れることができました。インターハイへの取り組みを通じて得た技術を活かして、今後の登山活動も安全登山を目標に頑張っていくと思います。

ソフトテニス部

男子は2年生が9名、1年生が8名。女子は、2年生が5名、1年生が9名、計31名で活動しています。今年の夏は奈良県への遠征など、自分たちの技量を磨くよう計画しています。2年生を中心に、飛躍の年にしようとして、日々努力をしています。

剣道部

顧問は浦田・松井・杉本。更に本クラブOBの前田隆義さんが今年度から本校で世界史授業を担当。部員は一年男子2名・女子1名が入部、高校総体等の各種大会に出場しています。OB会も例年通り八月に開催、先輩諸氏から現役生にご教示を得る機会になっています。

柔道部

小林優希
インターハイ63kg級5位入賞

今年も2年ぶりのインターハイ出場で、3年小林優希が大会5位入賞という戦績を残すことができました。創立50周年という記念の年に、出場でき記録が残せたことに喜びを感じています。また南高のページに花を添えられるよう、部員一丸となって日々努力しています。

希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

卓球部

3年生が引退し、男子部員は2年生が5名、1年生が12名。女子部員は、2年生が2名、1年生が2名。練習は日曜日を除く毎日、体育館1Fで行っています。男女共に、県ベスト8を目標に、日々努力をしています。

サッカー部

県総体ベスト8 2年ぶりに県総体ベスト8に進出。相手は、再び四中工だ。前回の反省を生かし、メンタルの部分重視した準備で臨んだ。結果は0対1で敗北。でも内容は非常に惜しかった。決定的なチャンスもあった。今度こそ勝てるように。

応援団・バトン部

総勢33名。伝統と幾多の条件を呑み込みながら心一つにして熱いあつい練習を積み重ねてきました。大会に出場する各部の大健闘を祈って、夏の風物詩を彩る応援団・バトン部の声援は今日も校庭に響きます。



ハンドボール部

男子が2年連続の東海大会出

天文部

昨年度一眼デジタルカメラを購入し、天体写真が撮れるようになりまし。南高祭での写真展示や模型ロケットの打ち上げに向けての準備を着々と進めています。夏休みには長野県に写真撮影に行く予定で、たくさん天体写真を撮る予定です。

バスケットボール部

男女共に2年生9名、1年生7名、マネージャー5名。男子は、昨年度2年振りに県大会出場。ベスト16に。今年度は、県大会出場。ベスト8が目標。女子は、上位チームとの差が大きく厳しいですが、2年振りの県大会出場を目標にしています。

バドミントン部

1、2年生の部員数、男子28名、女子19名。日々練習に励んでいます。昨年9月には、別保大志が単一部でベスト8に入り、中部日本大会に出場するなど、男女とも各種大会で好成績を収めています。更なる飛躍を求めて研鑽に励みますので、一層のご支援をお願い致します。

演劇部

昨夏の大会では2年生前田郁恵作『星空を見上げて』を演じました。北勢地区大会を勝ち抜き、県大会に出場しました。今年の北勢地区春季大会でも1年生古畑藍作『Realize』を演じ、銀賞を得ました。主顧問を務めた水谷正彦が神戸高校に転出し、稲生高校から転入した中川綾が顧問に着任しました。

美術部

いよいよ来年三重大会が実施されます。美術工芸部門は三重県立美術館で開催され、展示や全体会での制作、全国のみなさんを迎える準備を着々と進めています。当美術部は、1年生4名が入部し久々に男子1名が入部。例年の合宿等も実施予定です。

美術部

昨年度は十数年ぶりに夏のコンクールで東海大会出場を果たしたほか、恒例の期演奏会は第20回記念演奏会を迎え千二百名を超えるお客様においでいただくことが出来ました。今年も南高サウンドを目指し、頑張りたいと思います。

テニス部

県総体で男子が団体3位、女子が7位となり、目標であった上位入賞は果たせました。1、2年生を中心に男子22名、女子10名で活動しています。さらなる好成績を収めることができるよう日々頑張っていますので、ご支援を宜しくお願い致します。

音楽部

21人で活動しています。入学式での校歌演奏に始まり、南高祭、中学生見学会、離任式など校内の活動に加えて、合唱祭、合唱コンクール、三重音楽祭、アンコン、北勢合同など校外での活動も積極的にを行っています。今年度は50周年記念式典で

OB会との合同演奏など校歌を歌う機会が増えそうです。

吹奏楽部

昨年度は十数年ぶりに夏のコンクールで東海大会出場を果たしたほか、恒例の期演奏会は第20回記念演奏会を迎え千二百名を超えるお客様においでいただくことが出来ました。今年も南高サウンドを目指し、頑張りたいと思います。

水泳部

オリンピックイヤーの年。我が南高水泳部は、オリンピックなんて夢にも考えられない。しかし、目標がないわけではない。それぞれが自分の目標に向かって水中で、陸上で体と心を鍛えています。そんな今年のトピックスは、50m自由形でインターハイ出場がかなうかもしれない。ご期待ください。

茶道部

羽木千鶴子先生に週に一回来校していただき、表千家のお前を稽古しています。南高祭初日にはお茶会を催しています。それに向けて1、2年生部員16人が稽古に励んでいます。今年度は三重県の高文祭にも参加する予定です、皆張り切っています。

インターアクト部

2年生3名と少ないですが、奉仕と国際理解をテーマに「今の私たちにできることで、今しかできないことを継続してや

る」を活動方針にすえ、募金活動や献血啓発活動、全国高文祭三重県大会ボランティア部・生徒実行委員会に参加しています。

放送映画部

3年生4名、1年生1名の計5名で活動しています。本年度は、体育祭や文化祭での活動に加えて、創立50周年記念式典での放映へむけて記念映像作成に力を入れています。思い出に残るような作品を作るため、がんばっていききたいと思います。

野球部

『南高野球部の夢』今年、50周年を迎える我が校も、また甲子園出場はありません。高校野球選手の夢である甲子園出場は、先輩方から託された悲願でもあります。部員は、1年生18名、2年生18名、3年生14名、マネージャー5名、計55名です。強豪校に負けない情

箏曲部

8名で活動しています。毎週木曜日には森雅笙先生に指導していただきます。昨年の高文連の演奏会では5位に入賞。来年は三重県で全国高文祭が開催されますので各校が猛練習中です。南高校も合同演奏と単独演奏の両方の曲目でさらに上位をねらって一層の練習に励んでいます。

50周年記念事業実行委員会より

寄付について 寄付総額750万円(平成20年8月末) 記念テーマ 『誇りを胸に』 式典 ○場所 四日市市文化会館第一ホール ○実施日 10月25日 ○記念式典(午前) 挨拶、DVD上映 ○記念行事(午後) パネルディスカッションまたは熱で夢に向かって邁進しています。 陸上競技部 男女32名で活動しています。今年度の主な成績は、県高校総体で女子3000mW2位(岐阜・東海1H出場)、男子三段跳8位、また昨秋の東海新人大会(岐阜)では男女800mに出場しました。県高校駅伝でも昨年度は女子9位と入賞までと一歩までがんばりました。日々練習に励んでいます。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス(内、数理コース2クラス)の合計317名でした。進学者数は301名(内男子174名)で、全体の95%が進学しました。ただし、残り50%の内47%は浪人生でした。

数理コースは卒業生の55.1%が国立大学に、37.2%が私立大学に進学しています。学年全体の33.7%が国立大学の進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は260名、合格者数は120名、入学者数は107名です。合格率は46.1%(入学率は89.2%)でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は122名です。

学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が41%(昨年34%)を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。文系系統の志望者の多さは今年度の一つの特徴で、文

学(13%)が昨年全国的人気であった教育(10%)を抜いて志望者が多くありました。昨年は教育学部に人気が集まりましたが、今年は全国的にも志望が集まらず、本校でも同様な傾向を見ることができません。

今年度の受験者動向の特徴として、愛知教育大では前期・後期日程共に、全国状況では昨年並

みの志願者数を維持しましたが、本校では合格者が増加しました。三大でも前・後期日程の志願者数が増加し厳しい入試となりましたが、後期まで粘り強く受験した結果、合格者を増やすことが出来ました。

富山大、金沢大、福井大、島根大、徳島大、岡山県立などの地域の大学では、センターリサーチ後に志願状況が大きく変わる大学・学部も見られました。十分な2次対策を行い、後

期まで受験することで合格を得られた生徒が目立った入試でした。センター試験後の1月後半から2月、3月の対策の成果が表れたと考えられます。

私立4年制大学の延べ受験者数は1,548名、重複を除く受験者数は298名でした。平均併願数は5.27(昨年5.04)になります。

全体的な受験者動向における特徴は、一般入試前期日程の受験者数(延べ797人)が昨年(延べ636人)より増加しましたが、合格率は40%(昨年51.4%)とダウンしている点にあります。これは昨年に比べ、各私立大学が一般入試試験での合格者数を絞り込んだことが原因と考えられます。

学部別の合格状況は、工学系が30.4%と群を抜いて多く国立

大と同じ傾向がみられます。ついで、多い順に経済・商学系(12.8%)、文学系(16.0%)となります。工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによります。

今年度の工学部系の受験者動向の特徴は、愛知工業大、大同工業大で受験者を減らしましたが、名城大、中部大、近畿大で大幅な受験者の増加がみられたところ

です。特に名城大の理工学部では改組の影響もあってか受験者の増加が目立ちました。

また文系学部の受験者の増加が見られ、文系学部を中心とする大学は全体の受験者を増加させています。南山大、中京大、愛知淑徳大、椋山女子学園大、立

命館大などへの本校の受験者は昨年よりも増加しています。文系学部での増加が目立っています。具体的な学部では全国的志望動向で言われる経済・商学

両系統への志望者増加の顕著な事例が認められ、合格状況も13%と昨年(7%)を大きく上回りました。その他、教育、語学系統の学部での志願者の増加がみられました。

創立50周年を迎え、地域の期待を担う進学校としてさらなる飛躍を目指して進路指導を行っておりです。先輩諸氏のご指導ご鞭撻をお願い致します。

(進路指導部 崎山 精二)

2008年入試 大学合格者数(浪人含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格		
帯広畜産	1	徳島	2	青山学院	4	麻布	1	豊田工業	2	同志社女子	1	名古屋短大	2
岩手	1	香川	1	北里	5	洗足学園音楽	1	名古屋音楽	2	立命館	35	名古屋女子短大	3
茨城	1	九州工業	1	慶應義塾	1	金沢工業	6	名古屋外国語	22	龍谷	1	名古屋文化短大	1
千葉	1	福岡教育	1	工学院	1	帝京科学	3	名古屋学院	2	大阪工業	4	南山短大	8
電気通信	1	国立大学計	94	國學院	1	岐阜女子	1	名古屋経済	2	大阪大谷	1	名古屋柳城短大	1
東京農工	1	会津	1	実践女子	1	岐阜聖徳学園	7	名古屋芸術	5	関西	23	鈴鹿短大	1
横浜国立	1	高崎経済	1	芝浦工業	2	岐阜医療科学	1	名古屋商科	1	関西外国語	1	京都女子短大	1
富山	2	前橋工科大学	1	中央	1	静岡理工科	1	名古屋女子	15	近畿	16	短期大学計	37
金沢	4	福井県立	1	東海	3	聖隷クリストフ	1	藤田保健衛生	6	摂南	2	さいたま赤十字	1
福井	3	都留文科	1	東京音楽	1	日本赤十字豊田	1	南山	54	阪南	1	東京都板橋看護	1
信州	3	愛知県立	6	東京家政	1	星城	1	日本福祉	6	関西学院	2	名古屋医療セ7附	2
静岡	6	名古屋市中立	4	東京農業	7	名古屋学芸	9	名城	114	甲南	1	三重中央医療セ	3
愛知教育	2	三重県立看護	3	東京理科	6	愛知	15	東海学園	6	岡山理科	1	三重県厚生連看護専門	2
豊橋技術科学	2	大阪府立	2	東邦	1	愛知学院	21	桜花学園	1	福山	1	三重看護専門	1
名古屋	5	兵庫県立	1	東洋	1	愛知工業	11	名古屋文理	3	私立大学計	713	四日市医師会看護専門	1
名古屋工業	6	岡山県立	3	日本	2	愛知淑徳	38	皇學館	10	三重短大	13	トヨタ名古屋自動車大学校	1
岐阜	3	尾道	1	文化女子	1	愛知学泉	3	鈴鹿医療科学	11	共立女子短大	1	ヤマハ音楽院名古屋	1
三重	39	広島市立	1	法政	2	金城学院	17	四日市看護医療	9	実践女子短大	1	国際医学技術専門学校	1
大阪	1	愛媛県立医療	1	明治	4	椋山女子学園	48	長浜バイオ	3	東京家政大短大	1	専門学校	14
大阪教育	2	長崎県立	1	明治学院	1	大同工業	8	京都外国語	1	立教大学院短大	1	防衛大学校	1
和歌山	1	公立大学計	28	立教	2	中京	63	京都産業	2	大垣女子短大	1	三重県職員	1
鳥取	1	酪農学園	3	立正	1	中京女子	5	京都造形芸術	1	愛知学院短大	1		
島根	2	千葉工業	1	早稲田	3	中部	20	同志社	7	愛知江南短大	1		

注意ください！

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

全国高総文祭みえ09

平成21年7月29日(水)〜8月2日(日)

全国高等学校総合文化祭は、全国の文化芸術活動に取り組み高校生が一同に会し開催される文化の祭典で、文化部のインターハイとも呼ばれています。この大会が本年度は群馬県で開催され、来年、平成22年にはこの三重県での開催となります。

総合開会式(県営サンアリーナ)行事の他、演劇、吹奏楽、美術、文芸などの公式13部門と全国初開催となる「映像」「熊野古道」などの協賛6部門を加えた24部門で発表、展示、競技等が三重県下の市町で開催されます。

大会の企画運営は「生徒実行委員会」が行い、生徒実行委員長を本校2年の江藤美佳さんが務めます。この夏休み中には、知事訪問を皮切りに広報活動を県下一斉に行い、群馬大会でのPR活動、22年度開催の宮崎県高文祭でのPRなどを予定しています。三大大会の成功に向け、皆様のご協力、ご支援をお願いします。(左は朝日新聞掲載記事)

盛り上げよう! 全国高総文祭

来夏、文化部のインターハイ

運営は生徒主体 仲間を大切に

県内の生徒がデザインしたキャラクター「みえびい」と生徒実行委員の高橋啓介君(左)と高橋啓介君(右)が、文化祭のPR活動の一環として、朝日新聞に掲載された。

http://www.pref.mie.jp/miesobun/

先生お元気でですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

アンケート項目

- ①南高を転退職されてから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

樋口卓也 先生

①南高には、1990年から99年まで9年間お世話になりました。転勤してから9年半になります。

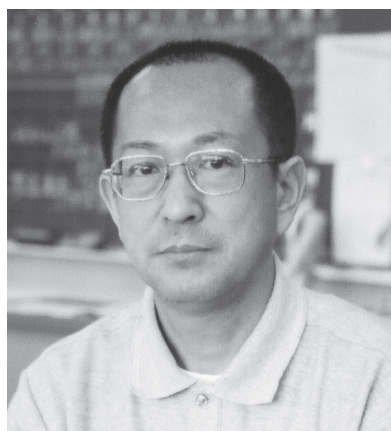
②現在は、鈴鹿市の飯野高校に勤めています。英語コミュニケーション科と応用デザイン科の2学科からなる全校生徒500名ほどの小さな学校です。生徒たちはとても大らかで明るく、家族的な雰囲気の中で、充実した毎日を送っています。担当教科は世界史で、少しでも歴史を好きになって欲しい一念から、教科書など一切使わず、歴史を熱くドラマチックに語っています。クラブは演劇部の顧問をやっています。顧問歴23年にもなります。

③クラシック音楽に浸ります。もはや道楽と言ってもいいかも知れませんが、購入したCD・DVDは数知れず、聴かないまま眠っているCDはほごりをかぶっています。バロック音楽から現代音楽まで、ジャ

か復活できないか」と談判したのを覚えています。

演劇部の顧問としては、本当に一生懸命に稽古する部員たちから、逆に教えられることが一杯でした。演劇という「毒」に侵されながらも、日々成長していく部員たちに接するだけで、顧問冥利に尽きました。

⑤当時の南高生はとても輝いていました。勉強もクラブも、両立させて頑張る文武両道の理想的な高校生の姿を肌で実感しました。何かに心を燃やせるものを多くの生徒たちが持っていました。現役の南高生の皆さんは、たった3年間の高校生活を、何かに打ち込めるものを見つけて自分の成長の糧にして欲しいと思います。同窓生の皆さんは、OBであることに誇りを持って、毎日をご過ごして下さい。久しぶりに母校を訪れた時に、何がしかの感慨にふけることができましたとき、南高でよかったと思えるはずですよ。



生としての存在証明そのものに映りました。ところが、私が顧問をおりてから、年々参加者が少なくなり、ついには廃止の憂き目になってしまったことがとても残念で、当時の顧問に「何と

平成20年度

四日市南高校

同窓会学年幹事会

総会報告

一開催日時

平成20年8月9日(土)
午後2時～学年幹事会
午後3時10分～総会
午後4時～懇親会
午後6時終了

二場所

四日市都ホテル3F

三参加人数

50名

四内容

- 【学年幹事会】出席者 18名
- 【理事会発足検討】役員より、50周年記念行事、予算運営など、数名の役員で決定するには重大すぎるので、各期に1名の理事を選出し、意見の集約をしていきたいとの提案。出席幹事了承。
- 同窓会費の有効活用を積極的に考えていこうとの意見。

【総会】

- 会長挨拶
会長 粕谷邦男様
50周年を迎えるにあたって
- 学校長挨拶
学校長 中川安久様
現在の南高校の状況について
- 役員紹介
- 会計報告・質疑応答
- その他(報告)

「50周年記念行事について」
教頭 結城義一様より

「南高校関東地区の集い」
7月30日 25名参加

【懇親会】

総会終了後、同会場にて
18時散会

教職員移動

平成十九年度末(敬称略)

【退職】

英語 清水峯夫

【転出】

国語 花山愛治
社会 水谷正彦

【転入】

社会 鈴木 博
国語 佐野善人
英語 中川 綾

【転出先】

〈いなべ総合学園〉
〈神戸高校〉
〈四郷高校〉
〈桑名高校〉
〈稲生高校〉

平成21年度 総会及び懇親会〈予告〉

開催日時：平成20年8月8日(土)
午後2時より理事会
午後3時より総会

開催場所：四日市都ホテル

会計報告など総会(30分程度)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。

同窓会役員

会 長	粕谷邦男	(2期)
副会長	田中 正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	村野玉紀	(16期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
【学校側】		
顧 問	中川安久	学校長
問 計 事	中川栄子	事務次長
理 事	鈴木正司	教諭
	浦田 治	〃
	川井田真澄	〃
	城 利英	〃
	中川 綾	〃

連絡先
〒510-8562 四日市市日永字岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL. 059-345-3177・3178
FAX. 059-345-9549
http://www.4nan.jp/~dousou/
E-mail do-so@4nan.jp